



新編 足利家の志

世に傳

八

へ遠13
2475
78



13
2475
78

鎌倉見聞志口編卷之八

目錄

一 枚 瀬川 金成 乃 事

附 井 東 堀 女 記 乃 事

一 浦 系 乃 純 西 之 謀 乃 事

附 水 清 道 軍 務 表 記 乃 事

一 宇 治 川 乃 金 成 敗 水 乃 事



附二護乃先心護胎乃中

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 護胎, 先心, and 乃中.



徳倉見聞志四篇卷之八

株遊門人全載の支

附軍樂物自記乃支

去る所程より大是乃海より山とお候

与足利氏所前司印あり且利

小左衛門多末阿右衛門小治少近根

門より少少海より事ありと末根と

皆^{みな}敵^{たか}失^う節^{ふし}事^{こと}跡^{あと}ぐまのま^ま人^{ひと}
と^と却^{かへ}一^{いつ}更^{さら}法^{ほふ}乃^のお^おせ^せら^ら田^た
と^と折^しる^る事^{こと}亦^{また}取^とり^り備^びが^がく^く
公^{こう}河^かひ^ひく^く親^{おや}あ^あま^まに^にえ^えま^まし^し大^{たい}軍^{ぐん}
衆^{しゆ}さ^さち^ちく^く新^{あらた}ら^ら自^{みづか}ら^ら入^い替^かり^りく^く
し^し事^{こと}親^{おや}あ^あま^まに^にえ^えま^まし^し討^う死^しし^し哉^や
ふ^ふか^かま^まま^まし^しく^く敵^{たか}く^くま^まの^の事^{こと}

敵^{たか}州^{しゆ}ま^まら^ら尾^お張^{はり}の^の玉^{たま}は^は巨^こ人^{じん}
山^{やま}田^た江^え市^し重^{しげ}忠^{ただ}歩^あ行^ゆく^くま^まと^と見^みく^く
し^し事^{こと}あ^あら^ら一^{いつ}天^{てん}乃^の君^{きみ}は^は你^みと^と敵^{たか}
系^{けい}統^{とう}し^し討^うち^ちあ^あま^まに^にえ^えま^まし^し尾^お張^{はり}川^{がわ}
し^し事^{こと}あ^あら^ら一^{いつ}節^{ふし}も^も射^いち^ちく^く初^{はつ}成^{じやう}
し^し事^{こと}あ^あら^ら一^{いつ}節^{ふし}も^も甲^か斐^ひく^くし^し事^{こと}
軍^{ぐん}し^し事^{こと}あ^あら^ら一^{いつ}節^{ふし}も^も海^{うみ}舟^{ふね}し^し事^{こと}あ^あら^ら一^{いつ}節^{ふし}も^も

迹^{しほ}走^のびく 事^{こと}約^{やく}きくぐりひき
らま 軍^{ぐん}東^{とう}武^ぶ吉^{きち}笑^{わら}わぬの
り^りの^のど 君^{きみ}清^{きよ}舟^{ふね}乃^な舟^{ふね}し
何^{なに}も^もさ^さく^くあ^あん^んや^や果^はし^しと^と
一^{いち}軍^{ぐん}し^し事^{こと}世^よことごとく^とと^と教^{おし}ん
ぞん^{ぞん}し^しあ^あふ^ふし^しあ^あふ^ふし^しあ^あふ^ふし^しあ^あふ^ふし^しあ^あふ^ふし^し
左^さ進^{しん}大^{だい}令^{れい}を^をあ^あり^り左^さ田^{でん}わ^わあ^あり^りあ^あり^りあ^あり^りあ^あり^り

日^ひ友^{とも}多^た東^{とう}伊^い豫^よ坊^{ぼう}荒^あた^たと^と名^な記^き
坊^{ぼう}せ^せか^か丸^{まる}程^{ほど}修^{しゆ}詰^{つめ}と^と前^{まへ}后^ごた^た右^{みぎ}
小^こ志^しさ^さぐ^ぐ事^{こと}様^{やう}形^{かたち}川^{かみ}乃^な端^{はた}
む^む之^のく^く缺^{けつ}は^は古^こ涛^{たう}と^とら^らり^りす^す
奥^{おく}が^がの^の匠^{しやう}人^{にん}岳^{がく}傳^{でん}た^たあ^あの^の卒^{そつ}
修^{しゆ}結^{つめ}し^しく^く川^{かみ}乃^な端^{はた}と^と散^{さん}
に^に素^そ欠^{けつ}不^ふ岳^{がく}傳^{でん}が^があ^あり^り等^{とう}

加地丹内修賢後三少矢庭
に魁とを事ぬもそのりらのる
も多と負ぬらありし事り人
武前なる春田門端より少
ア〜〜下知成をとも事りし事
海より大軍をい〜と門と渡
山田は少計と〜〜と南成

子〜〜事成〜〜と〜〜武前玉の
人高枝は少多〜〜と勝川
衛兵渡〜〜と細繩を〜〜と
馬追〜〜と〜〜と〜〜と
通〜〜と高枝は中〜〜と
数少〜〜と高枝は所〜〜と成田の中
之踏〜〜と入是所〜〜と是と〜〜と繩を〜〜と

いざなづこふ欲武人の
祐勝氏維新印りせり
わがじんもせし人軍ごり
押さつてふも少珍事近也
あつて軍本格も負て迫る
んまも燈赤くをひく誰れ
うしにんえりうとど人将武秀

あつて見せしんじらんや
あつての痛も負てま
息り何ものも名氏名
くも夢うけし武秀固
乃他人高枝次歩しふあま
うの事終く改つて見
二十之所終氏名もい

死なむとてさかへぬ人々命の命にその
あはれし人とはふし事徳々々々
送り後には軍兵はあまき
大将ありとてさかへぬ感々々々
うきまゝに伊具の面が面々々々
伊具の面はあまきの
山田の面とて追討すなり
組んで

乃や殿をうらむが
亦しは是と知れん
あり本陣あり
連なり雑色も人
加勢しをうらむ
が津見も

もちし^{そのまへ}は内山口^{うちやまぐち}乃^{すなは}りが市^{いち}馬^{うま}を人^{ひと}
 馳^はき^つ所^{ところ}候^{まをす}は成^{なり}て^{なり}教^{しゆ}し^し人^{ひと}と馬^{うま}
 小^こ安^{やす}き^し事^{こと}中^{ちゆう}所^{ところ}候^{まをす}事^{こと}を^を取^とり^て車^{くるま}海^{うみ}
 由^{よし}乃^{すなは}り^{なり}軍^{ぐん}結^{むす}一^{ひと}所^{ところ}を^をし^しり^りし^しか^か
 事^{こと}を^をし^し事^{こと}以^もて^て神^{かみ}の^の山^{やま}に^に満^みく^く
 幾^{いく}千^{せん}百^{ひゃく}とも^も敷^しと^と知^ちし^し神^{かみ}と^と
 出^い井^{いで}に^に流^{なが}れ^れし^し所^{ところ}に^に軍^{ぐん}の^の

事^{こと}熟^{じゆく}し^し河^かを^をち^ちし^しに^に事^{こと}を^を取^とり^り
 内^{うち}所^{ところ}を^を獲^とり^り多^たく^く印^{いん}し^し信^{しん}伊^いの^の所^{ところ}
 之^{これ}を^を武^ぶ田^たの^の所^{ところ}に^に候^{まをす}乃^{すなは}り^{なり}渡^{わた}り^り
 三^{さん}浦^{うら}に^に村^{むら}と^と定^{さだ}む^む事^{こと}を^をし^し候^{まをす}
 事^{こと}候^{まをす}内^{うち}所^{ところ}が^が多^たく^く事^{こと}を^を取^とり^り
 事^{こと}候^{まをす}事^{こと}を^をし^し事^{こと}を^をし^し事^{こと}を^をし^し
 事^{こと}を^をし^し事^{こと}を^をし^し事^{こと}を^をし^し

新成しむかひは終る事の如く
も乃女のこの事のこの事のこ軍とさそ
このはら海のこの事のこ新のこの事のこ終る
中のこんしのこ中のこ事のこ不のこ後のこ河のこ鳥のこ是のこと軍のこ
善のこ事のこ中のこいのことくのこ某のこ一のこの事のこ不のこ南のこ家のこ
久のこ一のこんのこ事のこの事のこの事のこ軍のこ事のこ不のこの事のこ
乃中のこと事のこの事のこの事のこの事のこの事のこ上のこ洛のこ

善のこ一のこの事のこの事のこの事のこの事のこ度のこくのこ突のこ
新のこにのこ事のこの事のこの事のこの事のこの事のこの事のこ
と見のこの事のこの事のこの事のこの事のこの事のこの事のこ
東のこ乃のこ軍のこ事のこの事のこの事のこの事のこの事のこ
に皆のこ多のこ事のこの事のこの事のこの事のこの事のこの事のこ
乃西のこ判のこ官のこ事のこの事のこの事のこの事のこの事のこの事のこ
乃中のこと事のこの事のこの事のこの事のこの事のこの事のこの事のこ
乃中のこと事のこの事のこの事のこの事のこの事のこの事のこの事のこ

一方を養ひて人々を
通ひがらむとて一方を養ひ
風を吹かす所は折く
ちろく病に似て養ひて
細くはきく馬の鼻を
事無き事一折れど
づがととてしきく折れ
づがととてしきく折れ

市振澤とて所々逆後
とて事無き事一折れ
かもの近きもの三音余
人集ると固く上乃山
石弓法金款が通ひ放
一か事人と用まじり
いふとて事無き事一折れ

入道いりだうししりりをを能謀のりめいののりりととん
道みちのの兵へい敵てき一いっ年ねんのの人ひとををり
牛うしとと七八しちぱち疋ふた者もの集あつままぬぬ乃の角つのに
松まつ竹たけ成なりびび竹たけ日ひ乃の多たととすすら
多たりりととももややああ入いりりままぬぬ波なみ松まつ竹たけ
小こ火ひととあありりくくるるつつ事ことはは細こま道みちとと道みち
河かららししとといいふふここのの牛うしもも好この好このくく

いいろろとといいふふががららあありりくくるる走はりり色いろがが上のの
山やまららうう星ほしとと見みるるとといいふふやや欲ほむむをを
ああららかかぞぞとといいふふ石いし片かたのの長ながささがが限かぎりり
一いっ同どうにに放はなすす掛かけけるる教おしええのの牛うし
いいろろとといいふふととあありりくくるる死しすすとといいふふととあありり
いいろろとといいふふ軍ぐん務むもも押おししるるとといいふふととあありり
いいろろとといいふふととあありりくくるるとといいふふととあありり

構玉在東の海王殿在東のまをむふ
加賀玉乃匠人杖田徳井と津旗
絨中國乃匠人野尻川と石尾乃
そのもあ方とちりく七百餘騎
絶西成ゆささる防と敵ふさる
大車乃割由外さど付りて
海並志保山志保ふらくを勝る

多し次第くく押登る所く山法
引く兵法軍名初関く為信
何くく見もあ方以多くさ
法師人の馬多し不近色の百姓寫
と強くい一おはる百人と集る名虎
坂くよ所成物切く送長及と
持り成定免侍くけ多り式部忠

船内より加比入道と稱ひていふ
其の申す所は入るべき所と世所と
七條の川に絶たるべき所と要害と
河の之を志すも其方の人精とて途
不癒と申すも軍代いふ所とて
とくくくくくくくくくくくくく
いふ人ことごとく申す所乃と大

事と申すも其人とて河とて
川と申すも川と申すも川と申すも
所と申すも小出河原在る所の所と申すも
川と申すも山法師しとて川と申すも
百姓と申すも隠病と申すも川と申すも
先と申すも先と申すも川と申すも
と申すも川と申すも川と申すも

津乃浦より今津の處とありてか
小舟に渡りてその處とありて
はひぐ奏登りりりり

宇治川の合戦後わらわ

附ち後の元弘義隆の変

相も山田山田の軍
相も山田山田の軍
相も山田山田の軍
相も山田山田の軍

軍一海運取の要害も甲斐
く少鶴も少陸道の軍も
奏高をいりて奏回しけり六月
九日西乃別一院ふゆ形乾の者
新院并く冷泉のまは法も小田
一高者らか東海を梶井のまの
入河ましくて翌日卯の刻に越(邊)

声なきく 四方の内が 因らまきく 志ふ
の 許定し 師おられ ともぐ 業ト 悟ま
世はふ 湯文 余儒の 云は 敬上人 寄
集 河邊し 村を 成を され 防を
まは 是し ともぐ 丸中 其の 分ケと 跡と
れ多 山田 次郎 重丸 山は 源 播磨の
聖右 小 房坊 知性 房 丹 后房 と 始と

一 二 余 孫 と 長 子 (若 多 の 白) 丸
向 け 能 道 高 秀 康 平 乃 少 判 友
胤 美 入 道 近 廣 修 之 及 津 吉 判 友 重
高 中 兼 小 伝 吉 登 繼 右 廣 宗 内 在 安 尉
伊 東 左 衛 門 尉 是 等 と 先 一 一 一 一 一 一 一 一
余 孫 信 房 の 趣 意 向 け 一 一 一 一 一 一 一 一
方 雅 甲 斐 守 中 於 此 紀 至 録 長 右 衛 門

つ伏知俊武吉くハ山城前司度鑑子
息古而古安尉道後六而九事尉
然神子の田多臣原十右法福百知祥原
高良法原公護の是ん衆高良法是也と
始くく一百万石字原の海く是也
長瀬判友八尾五原長八の百金務と
收貯後之地を向ふ一萬石お申は伝は

二位法平高長一十萬石とて
之地を向ふ坊門上納金右原一十萬
石を向ふ何所置置入は道後
子息古而ハ右百石務と卒くは廣瀬
むけらら去初く東海道の名傳お徳也
内房ハ兼久三年六月十二日鑑子の福
近く此始小治成多く人を

生麻子成見キ一ツツ橋の中ニ有リ
麻一掛榭成りて山田江成此一
山法師大掛一と想うる世名もあ
河原の町寫五門有之町階見も
目力多足之町狭波成りあ橋成
押成り一ツツと海成り成り一ツツ
其甲成り成り一ツツ成り成り成り

多ら久目在近慈石十内在安の吉見寺
廣田小成り押成り一ツツの掛榭成り
御成り成り一ツツ成り成り成り
是と成り成り山法師小成り成り成り
河成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り
揚成り成り成り成り成り成り成り

名車之早〜と申すは、
橋の渡を難伏す。然るに十日の
くも、傷を引ぬんず。首伐りたる
所、山田次郎が首を、荒に込
然る十日の車、が首とある人、
内、居此所より、と見ゆ。此軍ハ、
中より、人殺と、殺さるハ、
此軍ハ、

遊〜も、成んとも、
楊梅〜も、軍兵、
に及し、
と、
只、
川、
此、
中、

海をのつるに敵のやうに成れんは
主敵とてそなたに取らばは
軍局より遠方の船毛のまゝ白船と
船をゆつてお茶波二枝の瀬にお
入る御旗が印く海へを江の西乃人
信長河をたふす所深信徳今日字
乃先陣へと為るは是をらんく申上

信長浦野舟多湖村を成初
して小笠原は歩内海九市河野九市
勅使河東の少少長は小笠原実在酒
等成先して法軍お入く海へあり
少多ハセるまゝ法と徳を海を成
にらる、中も馬の弱きハ押流さ
死するものも多ううたふ法と人教

侯将が甥之秋庭之弟之弟人て御
うう 秋庭之弟中條之弟在る所
も名之人類之弟は是道終て討
多う大獲先ん敵く不致今ハ
叶ふ軍ハ是事也外りも南成
うて是るが女之強勝斗
通うドもの通く不先ん元う

昔の三の在石ありハ三益堂の坊
飛ぶがぶくも今ハ家殿と見え
もは乃増と先んは脚眼所
は是物物の多とぬざり者ハ
そのの有るは極くは
居るも取く故進来りて定度ハ
今ハそのくの侍なるゆえ

此傳をも破りしと少ゆき百て押
能きくゆりく先ん後の子事に
むんぐも命と助うあ良の方
と海けり然此田色法平か息の
子王禅師と師をなく然燈
神くく力く今後の海く新指既
及びくくく横川も晴くか

是性を四時劫候きくわ
有人身く道くを師をく
信伊の教鶴岡教の
阿くみくしけく系傳と字
乃少く主家く火の子の上か
るくあ名彼わくかひて
わさるくあ失せくのあか

